

2 各取組における改善の具体

(1) 授業改善

① 特に改善が必要な学習内容

ア 小学校国語

〔問題別集計結果〕

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式	正答率(%)		無解答率(%)				
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	北海道(公立)	全国(公立)	北海道(公立)	全国(公立)	
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で(資料2)と(資料3)をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	5・6 エ							○	○	○		68.6	71.2	0.5	0.5	
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	5・6 ウ							○	○	○		61.7	63.4	5.7	5.9	
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	5・6 ウ					○		○		○		27.9	28.8	3.7	3.8	
1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「ア」部を、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6 (1)ウ (ア)					○	○	○	○	41.4	41.9	10.5	8.2	
1四(1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「イ」部を、漢字を使って書き直す(友達にかぎらず)		5・6 (1)ウ (ア)							○	○	○	○	70.3	69.4	12.0	12.1	
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「ウ」部を、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)		5・6 (1)ウ (ア)								○	○	○	○	34.1	35.6	5.9	4.9
1四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)」の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く			3・4 (1)イ (ク)						○	○	○	○	46.1	47.8	12.2	11.3
2一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る【疑問に思ったこと】の①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく	5・6 ウ								○	○	○	80.0	80.7	1.4	1.4	
2一(2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に入る【疑問に思ったこと】の②に対する答えになるように考えて書く		5・6 ウ									○	○	○	75.3	75.9	5.0	5.0
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	5・6 イ								○	○	○	88.3	88.5	4.2	4.2	
3一	量職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	5・6 エ								○	○	○	80.4	81.3	3.4	3.4	
3二	量職人への【インタビューの様子】の「イ」の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	5・6 エ								○	○	○	66.1	67.4	4.2	4.2	
3三	【インタビューの様子】の「イ」に、量職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5・6 エ								○	○	○	66.5	68.2	15.0	14.2	
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の「ウ」に入る適切なものを選択する(留うより慣れよ)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる			3・4 (1)ア (イ)							○	○	○	72.6	73.0	8.0	7.9

※(参考)従来の区分は、過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

〈今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問〉

- ① 相手に分かりやすく情報を伝えるための記述の工夫を捉えたり、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書いたりすることに課題がある。

大問1 調べたことを報告する文章を書く（「公衆電話」） **【書くこと】**

設問二

【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」の部分における書き方の工夫として適切なものを選択する問題

- ① 情報を整理して伝えるために、ことがらを分けて並べて書いている。
- 2 自分の考えを強調するために、同じ言葉をくり返して書いている。
- 3 自分の考えのもととなる事実を示すために、図や表を用いて書いている。
- 4 相手の理解を助けるために、使い方の手順に従って書いている。

正答率：全道 61.7%
全国 63.4%

設問三

【報告する文章】の「3 調査の結果をもとに考えたこと」の部分に、「(1)公衆電話はどのようなときに必要なのか」と「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」で分かったことをまとめて書く問題

- ・(1)(2)両方から分かったことを取り上げて、報告文にふさわしい表現で書いている。

正答率：全道 27.9%
全国 28.8%

- ② 漢字（同音異義語）を文の中で正しく使うことに課題がある。

大問1 調べたことを報告する文章を書く（「公衆電話」）

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

※児童が報告する文章を読み返すという場面設定の下、文脈の中で漢字（同音異義語）を正しく書く問題を出題

設問四(1)ア

「地いきの人三十人を調査のたいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ…」という文章の下線部を正しい漢字で書く問題

- ・「対照」と解答している：（全道3.8%、全国3.3%）
- ・「対称」などと解答している：（全道21.0%、全国29.5%）

正答率：全道 41.4%
全国 41.9%

設問四(1)ウ

「今回の調査を通して知ったことを…多くの友達に伝え、公衆電話についてかんしんをもってもらいたいと思います」という文章の下線部を正しい漢字で書く問題

- ・「感心」と解答している：（全道46.5%、全国47.1%）

正答率：全道 34.1%
全国 35.6%

〔改善の方向性〕

【書くこと】

○ **目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く指導の工夫**

- ・より説得力をもって自分の考えを伝えるために、調査したことを報告する文章では、調べて分かった事実を基に自分の考えをまとめて書くことができるようにする。その際、報告する目的に応じて、どのような理由や事例を挙げて自分の考えをまとめることが適切かを十分考えて書くことができるようにする。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○ **同音異義語に注意して、漢字を文の中で正しく使う指導の工夫**

- ・漢字による熟語などの語句の使用が増加する高学年では、漢字辞典を使って意味を調べたり、同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習などを取り入れ、文や文章の中で正しく使うことができるようにする。

イ 中学校国語

〔問題別集計結果〕

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				(参考) 従来の区分		問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	北海道(公立)	全国(公立)	北海道(公立)	全国(公立)
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したのとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ			2ウ												61.9	63.9	0.1	0.1
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1イ												62.2	61.5	0.1	0.1
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ			1オ				○						○		89.4	91.2	2.1	1.7
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く			1(2)ア											○	56.9	56.8	6.3	5.6
2一	話し合いでの発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える			1オ					○							80.6	80.4	0.1	0.2
2二	話し合いでの発言について説明したのとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する			1ウ					○							69.7	69.7	0.2	0.3
2三	話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く	話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ			1オ				○	○					○		57.9	60.4	10.6	8.9
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する			2エ					○							86.5	87.4	0.3	0.4
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く			1ウ				○	○					○		75.7	77.8	9.8	7.9
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する			1(1)イ(9)												80.4	78.7	1.1	1.2

※(参考)従来の区分は、過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

〈今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問〉

- ① 話合いの話題や方向を捉えることはできているが、それを踏まえて自分の考えをもつことに課題がある。

大問2 話合いをする（文化祭）

【話すこと・聞くこと】

設問三

「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題での話合いの流れを踏まえ、まだ「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く問題

- ・「どうするか決まっていないこと」とは何かを明確にして、それを解決する具体的な案を、実際に話すように書いている。

正答率：全道 57.9%
全国 60.4%

- ② 自分が伝えたいことについて資料の中から根拠となる情報を取り出して正確に書くことはできているが、自分が伝えたいことの根拠として読み手に分かりやすいように書くことに課題がある。

大問3 意見文を書く（地域の店）

【書くこと】

設問二

広報誌の一部にある情報（アンケート結果）を用いて、意見文に地域の店の「魅力」の具体例を書き加える問題

また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、

約三割の人が「高齢者への配慮がある」と感じており、超高齢社会を支える大切な役割が地域の店にあるのだと思う。（正答例）

- ・情報を適切に用いて正確に書いている。（全道22.5%、全国18.4%）
- ・取り上げた情報を基に自分の考えを加えて書いている。（全道53.2%、全国59.4%）

正答率：全道 75.7%
全国 77.8%

〔改善の方向性〕

【話すこと・聞くこと】

- **目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる指導の工夫**
 - ・各学年における話し合うことに関する指導を意図的・計画的に行うとともに、話すことに関する指導事項及び聞くことに関する指導事項との密接な関係を図って指導する。

【書くこと】

- **目的や意図に応じて相手に分かりやすく書く指導の工夫**
 - ・各学年における記述に関する指導を意図的・計画的に行うとともに、小学校での学習を踏まえ、自分の考えの根拠として用いる情報が適切かどうかを検討したり、自分の考えとの関係が分かるように記述したりできるようにする。